

白杵市観光パンフレット

うすきで 充電中。



白杵市観光交流プラザ

白杵の観光はここから始まる!!



うすきのまちの
ランドマーク
観光の拠点&
市民の交流プラザ



「特産品紹介コーナー」
白杵市のお土産品、特産品の紹介・PRコーナーを設けています。



パネルでは伝えきれない情報を
フォトフレームで発信!



「オリエンシアター」
白杵を知る最短コースかも!

白杵を知る、
めぐる、堪能する

観光情報案内コーナーや季節のイベントコーナーのある1階では、白杵の観光・産業・歴史などの情報をわかりやすく展示しています。町歩きの出発点としての情報は、ここに集約されています。

そのほか、観光客や市民が自由に使えるスペースもあり、案内所ではコンシェルジュが常時対応いたします。



城下町

うすき あるき



戦国時代、九州六方国を治めたキリシタン大名・大友宗麟が、弘治二年（一五五六）、四方を海に囲まれた天然の要塞であった丹生島に丹生島城（臼杵城）を築城しました。その当時の臼杵は、明やポルトガルの商人が行きかう国際的な商業都市として大変栄えました。

現在の町並みは、美濃（岐阜県）から慶長五年（一六〇〇）に入封した稲葉氏によって築かれました。

城を中心に、商家がたち並び、その外側を武家屋敷や寺院が取り囲むように町が形成されていることが大きな特徴です。

曲がりくねった道やカギ型の通などぶらぶらと歩くのが臼杵の楽しみ方です。来るたびに古いもの、そして新しいものの発見が必ずあります。



ゆっくり、ゆったり臼杵時間

「うすきあるきMAP」を手に町歩きを楽しみませんか！

うすきあるきとは？

観光交流プラザをスタート・ゴールに、マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに、いろいろなところを立ち寄りながら、臼杵の街歩きを楽しめるコースです。



国宝 白杵石仏

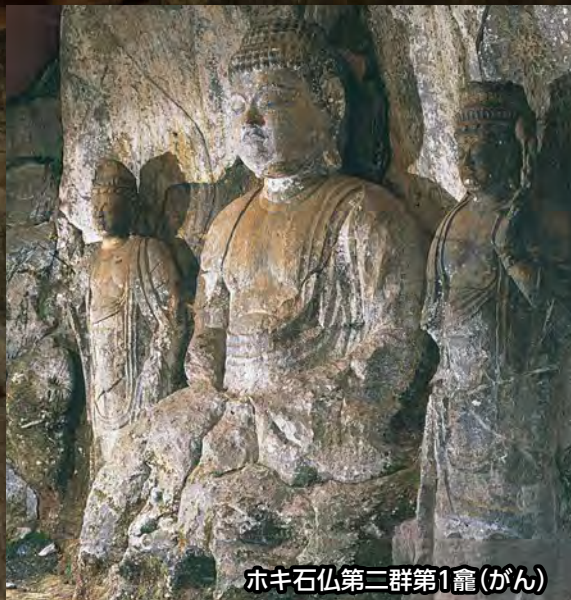
ときを旅する。こころを旅する。

古園石仏

平安末期から鎌倉初期の作とみられる中尊の大日如来像は、切れ長の目と引きしまった口元が端正で気品あふれる表情をみせています。以前は、頭部が胴部から外れていましたが、平成5年の修理工事で元の位置に戻し、あらためて世界的にその美しさが知られるようになりました。

古園石仏大日如来像に代表される「国宝白杵石仏（国宝・特別史跡白杵磨崖仏）」は、六十二体の磨崖仏からなります。平安末期から鎌倉時代にかけて彫られたもので、磨崖仏としてはその量、そして彫刻技術の高さから、日本を代表するものです。

石仏群は、ホキ石仏第一群、ホキ石仏第二群、山王山石仏、古園石仏に分かれ、それぞれが仏の世界を立体的に表現しています。



ホキ石仏第二群第1龕(がん)

極楽浄土を表す2龕からなり、第1龕には阿弥陀三尊像が、第2龕は、「九品の阿弥陀」と呼ばれ、比較的小さな仏像が彫られています。

ホキ石仏 第二群



ホキ石仏第一群第2龕(がん)

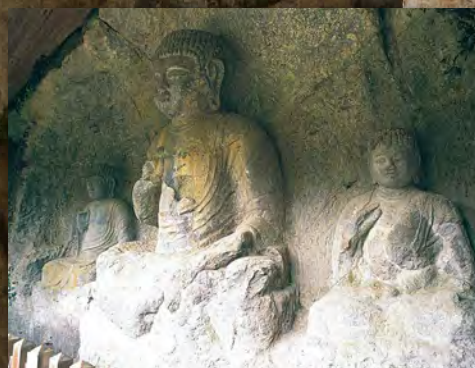
平安末期から鎌倉期に至るまでの磨崖仏が20数体並び、まさに壮観です。4つの龕からなり、第1龕は、如来坐像3体と菩薩立像2体、第2龕は阿弥陀如来坐像、薬師如来坐像、如来坐像の3体、第3龕は大日如来像ほか4体、第4龕は地藏菩薩半跏像並びに十王像の11体で、いずれも秀作ぞろいです。

ホキ石仏 第一群(堂ヶ迫石仏)



古園石仏の諸仏像と製作技法がよく似ていることから、この金剛力士立像はいずれも古園石仏と同時期に、彫刻されたものではないかと考えられます。

金剛力士立像



中央に丈六の如来像と左右に脇侍の様に如来を刻む三体の如来像で構成されています。仏像の顔は輪郭が丸く、目鼻は小じんまりとして童児のそれをおもわせ、今にも語りかけるような口もとなどは、邪気のない純真無垢な童顔そのものです。通称「隠れ地藏」と言います。

山王山石仏

観光施設料金表

国宝 白杵石仏 TEL0972-65-3300

- ・大人(高校生以上) 550円※30人以上から
- ・小人(小中学生) 270円 団体割引あります。

★お得な共通券をご利用ください

4施設
共通券

・国宝白杵石仏・旧白杵藩主稲葉家下屋敷
・野上弥生子文学記念館・吉丸一昌記念館
1,140円(大人券)／560円(小人券)
※共通券は上記の全ての施設で購入可能。
※土日祝及び年末年始のみ販売

2施設
共通券

・国宝白杵石仏・旧白杵藩主稲葉家下屋敷
710円(大人券)／350円(小人券)
※共通券は上記2施設で購入可能。

白杵石仏ボランティアガイドの会

- 申込み先／TEL0972-65-3300(3日前まで要予約)
- 案内地域／白杵石仏 ○ガイド料／無料
- 受付時間／午前10時～午後3時まで



古園石仏前に願い札を入れていただく「御祈願箱」を設置しており、仏教会有志寺院の僧侶により特別祈願法要が行われています。

※開催日は(一社)白杵市観光協会へお問い合わせ下さい。

特別祈願法要

深田の里

こころの小径

緑豊かな自然に囲まれた深田の里。白杵石仏公園入口の出会い橋を渡ったところから、「深田 心の小径」は始まります。国宝白杵石仏の石仏群に見守られ、日本・中国の偉人の言葉を刻んだ沿道の石碑に癒されながら、穏やかな時をお過ごしください。

四季の花



石仏周辺シバザクラ
3月中旬～4月末見頃



石仏周辺コスモス
9月中旬～10月中旬見頃

深田の里 ご案内図



千里の行も
足下より始まる



国宝臼杵石仏まつり

臼杵石仏群などの前に置かれたかがり火と参道や深田地区一帯に並べられた約1000本の松明が一齐に点火され、石仏周辺一帯が幽玄の世界に包まれる、幻想的なお祭り国宝臼杵石仏まつりは8月の最終土曜日に開催されます。

石仏周辺蓮畑
7月中旬～8月中旬見頃



①宝篋印塔

満月寺境内の北端に立ち、通称日吉塔と呼ばれています。台座からの総高4.2mで鎌倉後期の作と言われています。



②満月寺

満月寺は、伝説によれば臼杵石仏の縁起に欠かせない真名長者の発願により三重町内山蓮城寺を開いた蓮城法師によって創建されたと言われています。



③仁王像

満月寺境内にある。膝から下が土に埋もれ、力強い作風であるが、ユーモラスな表情をしています。



④(伝)蓮城法師像

真名長者のもとで石仏を彫ったといわれる人物です。



⑤(伝)真名長者夫妻像

石仏を造らせた人物と言われています。室町期作。



⑥化粧の井戸

伝説によると顔にキズのあった玉津姫が、この井戸で顔を洗ったところきれいにキズがとれ、美人になったと言われています。

石仏周辺彼岸花
9月中旬～10月初旬見頃



日本の心が 息づくまち 白杵



二王座歴史の道

二王座付近は、狭い路地のいたるところに城下町特有の面影をのこしています。中でも岩を切り割って道を通した「切通し」と呼ばれる二王座歴史の道付近は、白杵を代表する景観となっています。



龍原寺三重塔

龍原寺の三重塔は太子塔とも呼ばれ聖徳太子を祀る塔です。安政5年(1858)に竣工したこの塔は九州に2つしかない江戸期の木造三重塔の一つとして知られています。



旧真光寺

廃寺を改修した市民ギャラリー兼休憩所(入場無料)



旧丸毛家屋敷

稲葉家下屋敷につづく上級武士の屋敷で、一般公開しています。静かな住宅街の中でこの空間だけが時間が止まっています。(入場無料)



うすき竹宵

毎年11月の第1土日に二王座周辺で
開催されます。

南蛮文化の 香る城下町

貴重な歴史的財産の宝庫



大友宗麟公レリーフ
(日名子実三作のレプリカ 臼杵公園内)



フランキー
国崩し(佛狼機砲)のレプリカ
(臼杵公園内)



大友宗麟

宗麟(本名=義鎮)は、21代当主として家督を受け継いでからは、海外貿易で得た富と優秀な家臣団に恵まれ九州全土へとその領土を広げ、永禄3年(1560年)には九州6ヶ国(豊前・豊後・筑前・筑後・肥前・肥後)の守護職と九州探題に任ぜられました。弘治2(1556年)、府内の館(今の大分市)から臼杵丹生島城へ居を移し、臼杵の「まち」の繁栄の源を築きました。晩年の天正6(1578年)には自ら臼杵で宣教師カブラルについて授洗し「ドン・フランシスコ」と称しました。



サーラ・デ・うすき
大友宗麟時代に実在したと言われるノビシャド(修練院)を模して作られました。町中のにぎわいと食の情報発信を行っており、臼杵の魅力を感じることができます。



久家の大蔵
江戸時代後期(1868年)、臼杵市浜町に建築され、長年酒の貯蔵庫として使用されていた。大蔵の壁面にポルトガルの伝統的装飾絵タイル「アズレージョ」をほどこし、南蛮文化交流施設として蘇りました。ロジェリオ・リベイロ氏作
平成12年5月完成



臼杵城跡

大友宗麟によって築かれ、江戸時代は臼杵藩五万石の城として幾多の歴史を積み重ねてきた臼杵城。平成13年に大門櫓が復元されました。春になると満開の桜が見事に咲き誇り「臼杵城址桜まつり」が行われています。

臼杵市歴史資料館



「江戸時代初期の九州図」
かなり細かく正確なのは、島原の乱もあって幕府が
詳細地図を欲したためと言われています。



延宝4年(1676年)ごろの臼杵城下の絵図は原寸で巨大な床パネルに!(複製)



元禄年中御改豊後国絵図控
江戸時代の元禄年間(1688~1704年)に、幕府の命令
で作られた豊後国の絵図。本来巨大なこの絵図を約4m
四方に縮小。当時は将軍がこのの上に乗って見ていたと言
われます。



「古い絵図」 「現代の空撮写真」



通年手形
一般660円、学生330円で年間パス
ポートとなる「通年手形」があり、臼杵
市が所蔵する「竹取物語」などをデザ
イン。好きなデザインを選べます!

臼杵の過去・現在・ 未来をつなぐ

臼杵市所蔵の歴史資料
は、古文書・典籍・絵図・工芸
品など、江戸時代以降まと
まって伝わるものとしては
県下有数の資料群で、総数
は3万5千点以上にのぼり
ます。

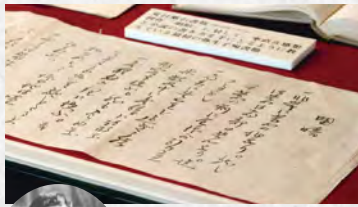
3か月ごとにテーマをか
えて、この資料群の中から
様々な資料を展示していま
す。特にお勧めはお姫様の
婚礼調度。豪華な時絵が施
された調度品は必見!
ぜひご覧ください!!

臼杵市歴史資料館ご利用案内

- 開館時間/9:30~17:30 ※入館は17:00まで
- 休館日/火曜日(祝日のときはその翌日)および12/29~1/3
- 入館料/一般330円(280円) 学生160円(140円)
*()内は20名以上の団体または市内有料公開施設の共通券
(発券した日から3日以内)を保有する方の料金です。
- 通年手形/一般660円 学生330円 *市内の学生は無料です。

郷土出身の作家

野上弥生子文学記念館



夏目漱石書簡
(明治40年1月17日)
習作「明暗」に対して、
率直な感想と小説の書き方を
手にとるように教えている、
最初の弥生子宛書簡です。



99才でこの世を去るまで文筆活動を送った野上弥生子の偉業をたたえるため、昭和61年に文学記念館が開館。現在の小手川酒造である、弥生子の生家の一部を記念館とし、館内では少女時代の勉強部屋も見学できるほか、逝去の直前まで執筆に使用されていた弥生子愛用の品々、夏目漱石から弥生子に宛てた手紙など、貴重な遺品が約200点展示、公開されています。

代表作
「秀吉と利休」「海神丸」

野上弥生子文学記念館

TEL0972-63-4803

大人(高校生以上) …… 310円
小人(小中学生) …… 150円
※20人以上から団体割引があります。開館時間 9:30~17:00

吉丸一昌記念館「早春賦の館」



市指定有形文化財板井家住宅、早春賦の作詞者として知られる吉丸一昌。夫人の実家を記念館として開放しています。

吉丸一昌記念館「早春賦の館」

開館日: 土日祝日及び年末年始(12/29~翌年1/3)
※上記の開館日以外に入館を希望する方は、入館希望日の3日前までに臼杵市役所までお問い合わせください。

開館時間 9:00~17:00
大人(高校生以上) …… 220円
小人(小中学生) …… 110円
※20人以上で団体割引あります。

TEL: (平日)0972-63-1111 (臼杵市産業観光課)
(土日祝日)0972-63-7999

旧臼杵藩主 稲葉家下屋敷



旧稲葉家別邸は、廃藩置県に伴って東京へ移住した旧藩主・稲葉家のうすき滞在所として明治三十五年(一九〇二年)に建設されたものです。稲葉家は東京移住後も、旧国立第一百九銀行などへの出資を行うなど、臼杵の経済にも影響を与えました。旧平井家と同じ敷地内にあり同時に見学できます。



旧平井家
江戸時代の後期の建築様式をよくとどめた上級武士住宅。天井裏から発見された棟札によって安政6年(1859年)の建築であることが確認されました。

稲葉家下屋敷
ご利用案内

■開館時間: 9:00~17:00(最終入館は16:30)
■貸館利用料: 下屋敷本体(大書院・御居間・台所) 1時間当たり 410円
・離れ棟(西の間・大西の間) 1時間当たり各310円

■入館料 ●大人(高校生以上) …… 330円
●小人(小・中学生) …… 160円
※20人以上から団体割引があります。

稲葉家の歴史

江戸時代全時期を通じて、臼杵藩主として海部大野・大分三郡の内に領地(五万石)をもった稲葉氏は、慶長五年(1600年)12月、臼杵に移封しました。初代貞通は、関ヶ原の合戦において家康方(東軍)に味方し、軍功によって美濃国(今の岐阜県)郡上八幡城から臼杵へと転封されたのです。稲葉氏は元々伊予(今の愛媛県)河野氏の流れをくみ、本姓を越智氏といえます。臼杵市立臼杵図書館に残る「稲葉家譜」には、慶長5年11月、譜代の重臣達20人が先発隊として臼杵に入り、竹田岡城の中川氏が守衛していた臼杵城の受け取りを済ませ、翌12月25日、貞通が嫡子典通(2代藩主)などを伴って臼杵に入ったと記されています。その後、明治4年(1871)、15代藩主久通の代で廃藩置県を迎えるまでの約270年間、質素儉約、勤勉といった言葉で表すことのできる、臼杵人気質の礎を作り上げていったのです。



(月桂寺蔵・稲葉貞通公肖像)



心もカラダも湯らったり……
白杵の温泉
 おんせん県で有名な大分県。
 白杵にも色々な温泉があります。
 白杵の温泉で心もカラダも
 しつかり充電できます。
 ぜひお越しください。

【うすき薬師の湯】

白杵の新しい温泉です。地下深くから湧き出る熱湯には様々な成分が溶け込んでおり、温泉成分の濃度は通常の三倍で、独特のヌルヌル感が人気です。

白杵湯の里
 入浴時間/平日 10:00~22:00
 土・日 10:00~23:00
 入浴料/550円(大人) 330円(小人)
 ※宿泊料についてはお問い合わせ下さい。
 問合せ先/0972-65-3711



鷺来ヶ迫 温泉

伝統の「温冷交互浴」が人気で、風呂上りは肌が「キュッキュッ」となります。ミネラル豊富な湯船に浸かり、身体をリフレッシュできます。

依屋旅館
 入浴時間/4月~10月 16:00~(18:00受付) 18:30
 11月~4月 16:00~(17:30受付) 18:00
 入浴料/大人500円(中学生以上) 300円(小学生以下)
 定休日/水曜日・木曜日
 ※宿泊料についてはお問い合わせ下さい。
 ※4月の受付終了時間は、変動するためお問い合わせ下さい。
 問合せ先/0972-62-3526



「六ヶ迫 鉱泉」(源泉 薬師堂)

源泉水を飲むことができ、糖尿病などに効用があります。飲泉湯治による療養は今も人気で、遠方からの利用者で賑わっています。



大自然にめぐまれた

民話の里

自然環境に恵まれ、天然記念物や文化遺産が数多く残されている野津地域。ゆかいなとんち話で知られる吉四六さんのふるさとです。



吉四六ランド



吉四六さんを感じ、自然に触れ合い、運動できる総合レジャーパーク。野津らしい食事と吉四六さんばなし(月2回)が楽しめる吉四六さんの家をはじめ、吉四六公園では、複合遊具で遊ぶ、池の周りの藤やアジサイなどの四季折々の花が楽しめます。多目的グラウンドや野球場など運動施設もあり、幅広い世代の方にご利用いただけます。春には約2,000本の桜が咲き誇り、4月初めに吉四六まつりが催されます。



吉四六ばなし

「馬に加勢」

山にたきぎを取りにきた吉四六さんは、たくさんの木を伐つていくつもの束をつくって馬の背に乗せました。荷が重いので馬はよろよろ。それを見た吉四六さんは、「こりや、むげねえ(かわいいぞう)のう。」

よし、わしがちっと加勢しちゃうと、たきぎの束を二つほど降ろして自分でかつぎました。

ところが、今度は吉四六さんが重い荷でよろよろ。そこで「アオよい、おれが加勢しちゃったんじゃけん、そんなわりにわしを乗せて行っちゃくれ」そう言うと、吉四六さんは、たきぎを背負ったまま馬に乗ってしまいました。

これでは馬がたまりません。前よりも層へとへとなつて、山を下りていきました。



金明孟宗竹 (県指定天然記念物)



孟宗竹の突然変異で鮮やかな緑色と黄色とが交互に節を彩ります。昭和45年に民家で数本が発見されて以来、県の特別保護林に指定されています。5月が見頃。

普現寺



吉四六さんの菩提寺。紅葉シーズンになるともみじが幻想的にライトアップされます。

風連鍾乳洞 (国指定天然記念物)



風連鍾乳洞入場料

- ・大人(高校生以上).....1,000円
 - ・小人(小・中学生).....700円
- (団体20名様以上1名につき100円引)

お問い合わせ 風連鍾乳洞観光協会 (駐車場有り)

〒875-0351 臼杵市野津町泊
TEL.0974-32-2547/FAX.0974-32-4112
営業時間:(3月~9月) 9:00~17:00
(10月~2月) 9:00~16:00

※台風や集中豪雨などで増水した場合、入洞不可となりお休み致しますので予めご了承ください。





臼杵時間、体感

豊かな環境のなかで自然体験や農業体験、
史跡めぐりなどを楽しむことができます。

協同組合

吉四六さん村グリーンツーリズム

代表理事:幸 義子

臼杵市野津町野津市901

TEL.0974-32-7181

FAX.0974-32-7764

Mail:info@kich46gt.com

臼杵市グリーンツーリズム研究会

代表:森尾 真二

臼杵市野津町大字八里合631番地

TEL・FAX.0974-32-4387

くらたび臼杵

代表:平林 真一

連絡先:kuratabiusuki@gmail.com

(メール問い合わせのみでお願いします)

<https://kuratabi-usuki.net/>

グリーンツーリズムとは??

農村に滞在し、自然や文化、人との交流を楽しめる旅のスタイルです。
四季折々の食べ物を囲みながら地域の人と語り、透き通った川で遊んだりすることで、
自然の中で心の豊かさを感じることができます。



グリーンツーリズムの楽しみ方

地域の人と一緒に散歩する、農泊家庭に泊まって夜ごはんを一緒に作りみんなでご飯を食べる、農泊家庭の縁側でただぼーっと景色を眺めてみる、楽しみ方は自由自在です。あなたにあった過ごし方を見つけてください。



白杵の歴史・文化・産業・風土など
 あなたの知的好奇心を満たしてくれる
 「ほんまもん観光人」が待っています。

ほんまもん観光人に会いに行く

白杵 まなび旅

ほんまもん観光人とは、白杵市で培ってきた歴史・文化・産業・教育などの幅広い分野において先駆的な活動をする市民で、白杵ならではの感動、思い出を来訪者に提供する方々のことです。

古来「観光」とは「光」を「観る」ことだといわれていました。「光」とは「真理」「本物」という意味で、現代の観光は本物の風景や建造物を観ることが主な目的になっています。

「白杵まなび旅」は、本物のある場所(=観光地)で、その地域で活躍している本物の人たち(=ほんまもん観光人)に出会い、交流することで白杵ならではの感動、思い出をつくってもらうことを目的としています。





各自治体や経済団体、企業様などの視察・研修旅行、修学旅行などの学校行事はもちろん、個人やグループでのご利用もお待ちしております。

町並みガイド



人生もガイドの仕事も
今日の一步から

■うすきタウンツーリズム研究会

申込先/TEL 090-7380-4337
(代表代理 長瀬 誠)

料 金/有料

案内地域/・臼杵城下町観光ガイド
・臼杵城址ガイド
・古地図で町並みガイド



教壇での経験を生かし
自分の感動をみんなの感動に

■臼杵石仏ボランティアガイドの会

申込先/TEL 0972-65-3300
(石仏事務所)

料 金/無料

案内地域/・臼杵石仏

ガイドをすることで深まる
自分の中の臼杵愛



■うすき町並みガイドの会

申込先/TEL・FAX 0972-63-7898
(会長 石崎 達雄)

料 金/有料

案内地域/・町並み散策エリア
・二王座歴史の道
・臼杵城跡等

臼杵は城下町じゃなく
ジョーク町や!



■(幽)うすきミワリクラブ

申込先/TEL 0972-64-7130
(古谷 美和)

料 金/有料

案内地域/・臼杵町並みエリア
・臼杵石仏

ほんまもん観光人
総勢50人!

「ほんまもん観光人」に会いに行く臼杵まなび旅

ほんまもん観光人は市民からの推薦に基づいた9分野、約50人を臼杵市観光協会が登録。
体験内容はそれぞれの分野で異なります。



臼杵ふぐと
料亭文化を
体感したい



発酵・醸造文化を
学びたい



ほんまもん野菜が
美味しい訳を
学びたい



石仏の里で
会いたい人達



漁師町深江の
ブルーツーリズム



臼杵の高度な
モノづくりを
学びたい



臼杵城下町の
ダイブな世界を
ご案内



和と心と
作法で
心身をリセット



城下町の
素敵な商店主に
会いに行こう

お問合せ

一般社団法人 臼杵市観光協会 〒875-0041 大分県臼杵市大字臼杵100番2

■TEL/0972-64-7130 ■FAX/0972-64-7117 ■E-mail/info@usuki-kanko.com





食文化創造都市

臼杵

CITY OF
GASTRONOMY

ユネスコ食文化創造都市臼杵

2021年11月、臼杵市は、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が管轄する「ユネスコ創造都市ネットワーク」に加盟しました。国内では、11都市がネットワークに加盟しており、食文化分野で加盟しているのは、山形県鶴岡市と臼杵市の2都市です。



臼杵には、味噌や醤油、お酒などの発酵・醸造文化、質素儉約を旨とする郷土料理、土づくりからこだわった野菜たちなど、人々が手間と心をかけて揃ってきた食文化があります。

ここ臼杵を旅するとき、優しく穏やかな人々や、どこか懐かしい景色とともに、私たちの大切な食文化にゆっくりと触れてみてください。

ユネスコ
創造都市
ネットワーク

創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市はネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行います。

2023年10月末現在、世界の加盟都市は350都市で、7分野(文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化)のいずれかに分類されています。

臼杵市では、豊かな食文化を体験できる様々なイベントを開催しています。臼杵にお越しの際は、名所巡りとともに、美味しい食や食文化を体験できるイベントにもご参加ください。

イベントの詳細はHPをご覧ください。





郷土料理

江戸時代、藩の財政難から生まれました。魚の切れ端まで美味しくいただく「きらすまめし」、クチナシの実で色をつけ赤飯の代わりにしたとされる「黄飯」など。質素が産んだ、オリジナルがここにあります。



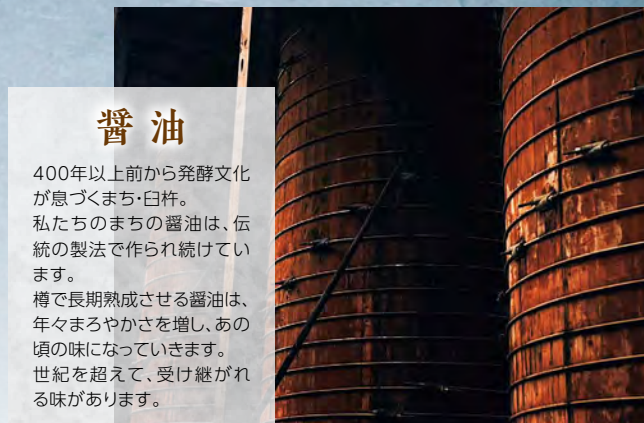
地酒

1杯目は地酒で乾杯。白杵の乾杯条例には、食への敬意が込められています。白杵には4つの酒蔵があり、それぞれが地元の原材料を使い、地元名物の魚料理に合うように酒を造っています。白杵の食は白杵の酒でご賞味ください。



味噌

白杵の味噌作りは、待つことから始まります。大量の蒸気で蒸す大豆、菌の働きを待ってつくる麹。それらを天然熟成させ、やっと完成した味噌は、感謝の気持ちとともに届けられます。ゆっくりと寝かせた分だけ美味しくなります。



醤油

400年以上前から発酵文化が息づくまち・白杵。私たちのまちの醤油は、伝統の製法で作られ続けています。樽で長期熟成させる醤油は、年々まろやかさを増し、あの頃の味になっていきます。世紀を超えて、受け継がれる味があります。



ほんまもん農産物

白杵の農業は、土づくりから始まります。草木を主原料とした完熟堆肥を使い、化学肥料と化学合成農薬を使わずに作られた農産物は、素材本来のほんまもんの味になります。料理の脇役でなく、主役の野菜です。



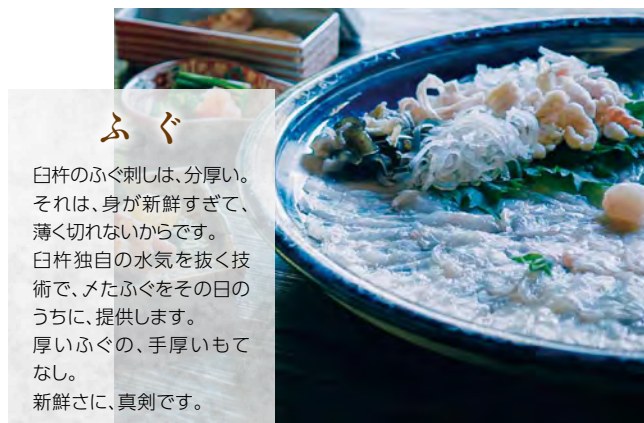
精進料理

白杵の精進料理。住職が修行で体得した禅の味。1時間擦り続けたゴマを使う「ごまどうふ」。強力粉をひたすら練り上げて作る「生麩」。食のマインドフルネス。手間と心をお召し上がりください。



本膳料理

江戸時代と同じ食材で、一週間の手間をかけて作られる、それが、白杵の本膳料理。白杵藩主 稲葉家から伝承された当時の食べ方も、体験できます。伝統を、味わう。作法を含めて、料理です。



ふぐ

白杵のふぐ刺しは、分厚い。それは、身が新鮮すぎて、薄く切れないからです。白杵独自の水気を抜く技術で、メタふぐをその日のうちに、提供します。厚いふぐの、手厚いもてなし。新鮮さに、真剣です。

お問合せ

白杵食文化創造都市推進協議会 事務局

〒875-8501 大分県白杵市大字白杵72番1 (白杵市役所産業観光課内)

TEL/0972-63-1111 (内線5683)

FAX/0972-64-0203

E-mail/creative_city_usuki@city.usuki.oita.jp





本場 白杵ふぐ

白杵の先人達が、大切に育んできた食文化の一つにフグ料理があります。豊後水道の急流にもまれた白杵のフグは、フグの中でも王様といわれる「トラフグ」です。市内には、フグ料理の店が多数あり、一年中、フグの贅沢な味わいを楽しむことができます。また、値段も手頃なことから、おいしいフグを求めて、全国各地より多くの人が訪れています。



かやく

エソなどの白身魚と豆腐、野菜を煮込んだ料理です。大晦日にたくさん作り、お正月の3日間の間、温めなおして食べていました。煮返せば煮返すほど美味しくなります。



黄飯

クチナシの実で黄色く色付けたご飯で、財政難だった白杵藩の殿様が、贅沢なお赤飯の代わりに作らせて食べ、家来にもふるまったのが始まりと言われています。



茶台寿司

白杵では古くから伝わる伝統料理でネタは椎茸やレンコンなどの野菜が中心で、魚介類は旬の魚を酢で締めたものが使われています。シャリを握って上下にネタを付け、大皿に並べて出されるのが白杵では一般的です。





ブランド
かぼすブリ
白杵酔いブリ

白杵を代表する特産品カボスをエサに混ぜて育てた「かぼすブリ」。市内の酒蔵の酒粕をエサに混ぜて育てた「白杵酔いブリ」。生産者が真心を込めて育てた養殖ブリをお楽しみください。



名物
フカ

白杵では古くからフカを食べる文化があり、フカの湯引きは花見や祇園祭などでは欠かせないものとなっています。フカは、「サメ類」の総称のことを言い、白杵市では主に底はえ縄漁業という漁法で漁獲されており、県内の主な生産地となっています。そのため、鮮度のよい美味しいフカを堪能できます。

特鮮
タチウオ



豊後水道で一本釣りされたタチウオは銀色に光り脂がのり、身が引き締まっていて美味しいと評判です。特に、その品質を保つための取組として共同出荷を行っています。第41回農林水産祭において「天皇杯」を受賞するなど、県内外から「マル白」ブランドとして高く評価されています。

豊かな海で育つ白杵の魚

白杵市は豊後水道北部の白杵湾に面しており、水産業が盛んな地域です。瀬戸内海からの潮流と太平洋からの黒潮がぶつかりあう「豊後水道」は、潮の流れが速く、プランクトンなどの餌も豊富であることから、そこで漁獲される魚の身のしまりや適度の脂の乗りは最高です。漁業種類も多様で、徹底した品質管理を行う漁師の技とそのおいしさを最大限に引き出す料理人の技が織りなす「白杵の魚」を、ぜひご堪能ください。



レースケ

標準和名は「クロアナゴ」といいます。豊後水道で獲れ昔から湯引きや天ぷらなど、様々な料理に活かされています。



きらすまめし

脂の多い魚の身を醤油に漬けて、オカラと混ぜあわせる。白杵藩時代から伝わる郷土料理。



とり天

鶏肉に天ぷら粉をつけて揚げた大分県で広く知られる郷土料理です。カボスやポン酢などにつけてさわやかにいただくのが一般的な食べ方です。





うすきほんまもん農産物は
認証シールが目印です。



うすきカボス
臼杵を代表する特産物。
その芳香と豊かな風味
は、全国に知られている。
臼杵での生産量は全国で
もトップクラス。

有機の里 うすきほんまもん農産物

臼杵夢堆肥などの完熟堆肥で土づくりを行った元気な畑の農産物!

特長①土の力でつくった農産物!

有機質肥料から力(栄養)をもらった元気な野菜たちです。

特長②臼杵市長が認定する農産物!

臼杵市が生産者の生産工程記録を審査し、栽培期間中に化学肥料が
使われていないことが確認できた農産物を臼杵市長が承認します。

甘太くん(べにはるか)
近年、さつまいもの品種「べ
にはるか」も生産量が拡大し
ています。収穫後、甘みを増
すために専用の貯蔵施設で、
一定管理温度のもとで40日
以上貯蔵して誕生します。



うすき 銘菓・銘茶

銘菓

うすきせんべいは生姜の匂いと甘い砂糖の風味で、一度食べたら忘れられない味。約400年の稲葉氏入封の際、保存食として用いられていた米、麦、稗などの穀物を材料に焼いた食品が始まりと言われています。



お茶

遊休農地を活用した土地利用型農業として、約85haが栽培されています。有機のお茶もあり、映画「種まく旅人」の舞台にもなりました。



醸造の町

うすき



醸造のノウハウは白杵の長い歴史で蓄積され、お酒造りから始まり、味噌や醤油など、白杵の醸造業は西日本で大きなシェアを誇っています。





白杵祇園まつり

県下三大祇園のひとつで城下町白杵にふさわしい壮観な祭りです。



白杵城址桜まつり

県内屈指の桜の名所でしられる白杵城址桜まつり。

うすきのお祭り スケジュール

4月

白杵城址桜まつり

(3月下旬～4月上旬)

吉四六まつり

(4月6日に近い日曜日)



東神野風流杖踊り(4月上旬)



6月

黒島キャンプ・海水浴場開き(上旬)



7月

石仏の里蓮まつり(上旬)





普現寺もみじライトアップ

境内には、約200本のもみじが植えられており、赤と黄色のじゅうたんを作ります。



うすき竹宵(日本夜景遺産認定)

晩秋の夜、約2万本もの竹ぼんぼりが幻想の世界へといざないます。



うすき雛めぐり
(2月上旬から3月上旬)

2月

国宝白杵石仏年越供養法要

12月

普現寺もみじライトアップ(下旬)

11月

うすき竹宵(第一土・日曜日)

野津市八朔おどり(下旬)

王の字火まつり
(8月1日(旧暦)から3日間)



ふるさと盆踊り大会(中旬)

山内流遊泳大会(上旬)

西神野風流杖踊り(上旬)

国宝白杵石仏まつり(最終土曜日)

8月

白杵天神夏祭(下旬)

住吉まつり(下旬)

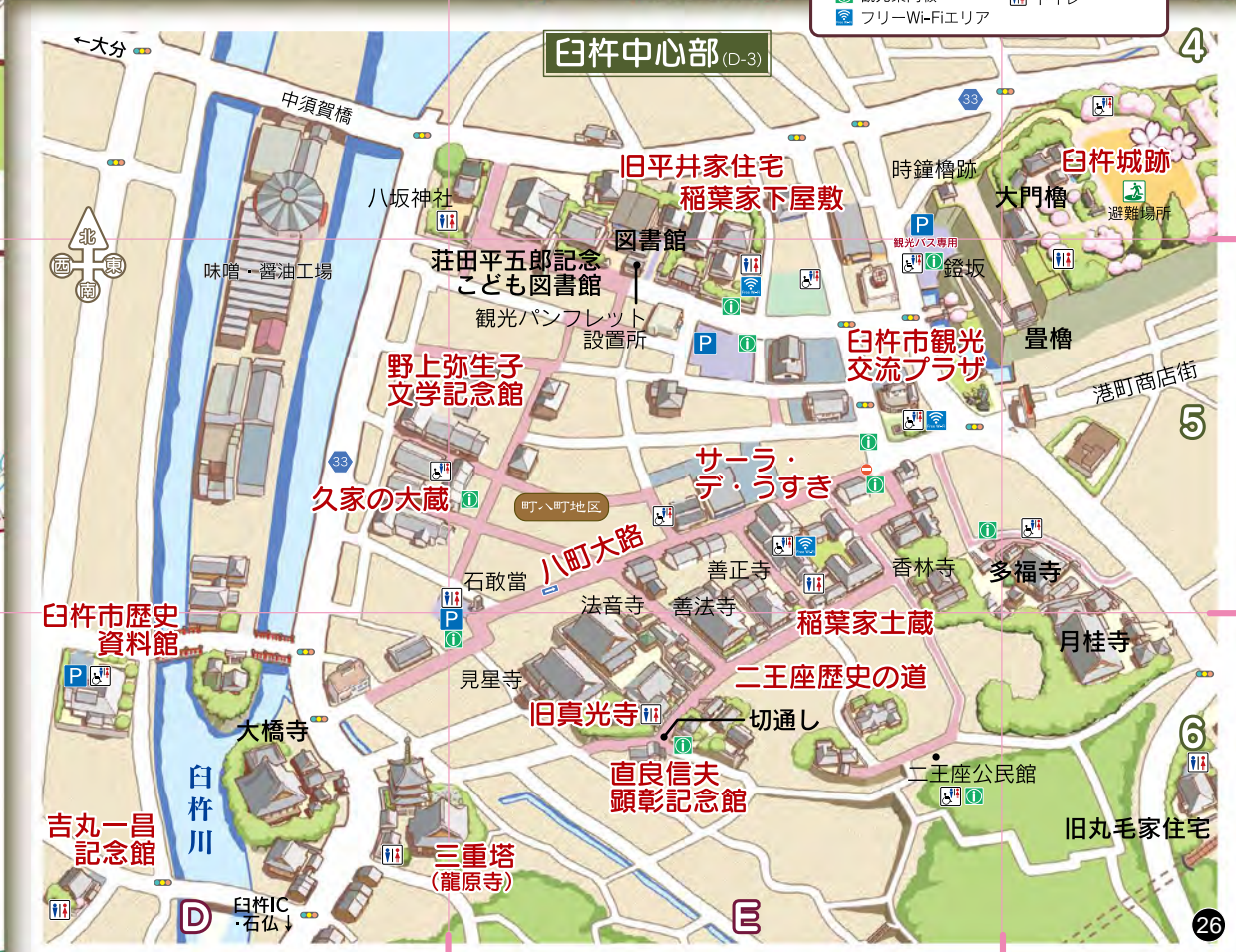
白杵祇園まつり(中旬)

臼杵市



凡例

PA	IC	高速道路
市役所	道の駅	里の駅
観光案内板	フリーWi-Fiエリア	主要県道
キャンプ場	ゴルフ場	車イス可トイレ
トイレ		





野津中心部 (B-4)

0 300m

北
西 東 南

大分 ↑ 臼杵石仏
野津郵便局
野津中央公民館
大正橋 (石橋)
臼杵市役所 野津庁舎
野津南
廣田吉右衛門の墓 (吉四六さんのモデル)
吉四六農園
野津南保育園
JA
野津中 吉四六市場
普現寺
ほんまもの里 農業推進センター
明治橋 (鋼橋)
安政橋 (石橋) 1860年
野津川
野口

吉四六さんの家 (休憩所)

野津中心部上に拡大図

吉四六ランド

野津市役所
野津小
野津町明徳寺
消防署野津分署
磨崖クルス
三連板碑
白杵市役所野津庁舎
普現寺
九重塔
松尾五輪塔
金明孟宗竹
王子ヶ城跡
白山神社
風連鍾乳洞





■ビジネスホテル（臼杵地域）

- ・クレドホテル臼杵
臼杵駅前 ☎0972-63-5666
- ・ホテルニューうすき
千代田区 ☎0972-64-0777
- ・ビジネスホテル すが野
新町 ☎0972-63-3388

■旅館（臼杵地域）

- ・五嶋旅館
浜 ☎0972-63-1051
☎090-1199-7066
- ・喜安屋旅館
港町 ☎0972-63-6600
- ・かどー旅館
二王座 ☎0972-63-1939
- ・臼杵 湯の里
深田 ☎0972-65-3711
- ・春光園
祇園西 ☎0972-63-3128
- ・俵屋旅館
六ヶ迫 ☎0972-62-3526
- ・川口屋旅館別亭 久楽
下ノ江 ☎0972-64-2000
- ・旅館海の家
佐志生 ☎0972-68-3111
- ・ホテル蔵
祇園西 ☎0972-64-0616
- ・茶旅庵 蓮
深田 ☎0972-65-2528
- ・石仏旅館
深田 ☎090-4353-7527

■民宿（臼杵地域）

- ・黒島荘
佐志生 ☎0972-68-3939

■宿泊（野津地域）

- ・橘屋（たちばなや）
野津町板屋 ☎0974-32-2026

■交通機関連絡先

- ・大分バス総合案内所 ☎097-532-7000
- ・臼津交通株式会社 ☎0972-63-3153
- ・宇和島運輸フェリー ☎0972-63-5118
- ・九四オレンジフェリー ☎0972-62-5844
- ・臼杵タクシー ☎0972-63-3311
- ・臼杵タクシー（野津営業所） ☎0974-32-2311
- ・富士タクシー ☎0972-62-4111
- ・日産レンタカー ☎097-534-0138
- ・㈱トヨタレンタリース大分 ☎0972-64-0180

■空と陸

- ・大分空港へ 東京から1時間45分 名古屋から1時間5分
大阪から55分 沖縄から1時間45分
- ・大分空港からサウスライナー（バス）で1時間30分
- ・大分駅から日豊本線特急35分で臼杵駅
- ・大分自動車道・鳥栖JCより約2時間
- ・北九州市から東九州自動車道経由で約2時間
- ・宮崎市から東九州自動車道経由で約2時間30分
- *臼杵ICで降りる

■鉄道

- 新幹線で小倉へ 東京から6時間 名古屋から4時間
大阪から3時間 広島から1時間
- ・小倉から日豊本線特急2時間35分で臼杵駅

■海

- 愛媛県八幡浜からフェリー2時間15分で臼杵港

■お問合せ

- | | | |
|--------------------|----------------|------------------|
| 臼杵市観光交流プラザ | ☎0972-63-1715 | FAX.0972-64-7117 |
| 臼杵市産業観光課 | ☎0972-63-1111 | FAX.0972-64-0203 |
| （一社）臼杵市観光協会 | ☎0972-64-7130 | FAX.0972-64-7117 |
| 臼杵石仏事務所 | ☎0972-65-3300 | FAX.0972-65-2010 |
| 臼杵市歴史資料館（火曜日休館） | ☎0972-62-2882 | |
| 旧臼杵藩主稲葉家下屋敷 | ☎080-4063-9855 | |
| 野上弥生子文学記念館 | ☎0972-63-4803 | |
| 吉丸一昌記念館『早春賦の館』 | ☎0972-63-7999 | |
| 吉四六の里観光協会（臼杵市野津庁舎） | ☎0974-32-2220 | FAX.0974-32-2224 |
| JR 臼杵駅観光案内所 | ☎0972-63-2366 | |